

## 昭和60年度 福島県立高等学校

# 生徒募集定員が決定



記者会見する佐藤教育長

一、昭和六十年三月の中学校卒業者の実態に対応するとともに、昭和六十年以降の中学校卒業者数の推移について長期的な配慮をする。

二、各地域の中学校卒業者数や志願の動向を十分に考慮しながら、収容率の適正化を図るように努める。

三、職業に関する学科については、各

佐藤昌志県教育長は、十一月十五日、十五時から記者会見し、昭和六十年度福島県立高等学校生徒募集定員を発表いたしました。発表の主な内容は次のとおりです。

### 〈募定・基本方針〉

学校の志願状況並びに地域の実態を勘案し、学科の適正配置に配慮する。特に産業構造の変化に対応した情報処理教育関連学科の設置に努める。四、普通科と職業学科の募集定員比及び公立高校と私立高校の募集定員比はおむね現状を維持するものとする。五、定時制の課程については、各学校の志願状況並びに地域の実態に対応するよう配慮する。

### 〈募集定員(暫定増を含む)〉

全日制の課程 一三一、九一五人  
定時制の課程 六六〇人  
通信制の課程 五五〇人

専攻科

三〇人

### 〈学級編成基準〉

全日制……現行どおり

〈暫定増〉  
暫定的に次のように一学級につき一～二名の増とする。

○県北地区 四校三三三学級 三三三人  
○県中地区 六校四三三学級 八六人  
○いわき地区 十校八三三学級 一六六人  
○相双地区 三校二〇学級 四〇人

定時制……現行どおり

### 〈学級減、募集停止、学科新設、学科転換〉

なお、各学校別の募集定員は、次のページの一覧表のとおりです。

(一) 学級減	全 日 制		定 時 制	
	白河実業	棚倉	喜多方女子	猪苗代
川俣	川俣	川俣	川俣	川俣
小野	小野	小野	小野	小野
平工業	平工業	平工業	平工業	平工業
織維工業科	色染化学科	電子科	電子科	電気科
商業科一学級を情	織維工学科一学級	電子科一学級	電子科一学級	科一学級
報処理科へ	金属工業科一学級	工業化学科一学級	普通科一学級	普通科一学級
工業化学科一学級	電子科一学級	電子科一学級	普通科一学級	普通科一学級
を電子科へ	商業科一学級	電子科一学級	電子科一学級	電気科一学級